

令和4年度

生産資材等価格高騰対策の JA福岡市東部の取り組み



世界的なエネルギー価格の上昇や穀物需要の増加に加え、ロシアによるウクライナ侵略等の影響により、肥料、農業資材等の原料価格が大幅に上昇し、その販売価格が急騰していることから、地域農業の生産コストの上昇が発生しています。

JA福岡市東部としては、中期ビジョンに掲げている「輪をつなぐ、農業を守る」の実現と、持続可能な地域農業の振興のため、農業の生産コスト上昇の影響を緩和する数々の施策を行ってきました。

① 苗代金の値下げ

●14,746箱の苗代金を**100円値下げ**

② 当用肥料価格の据え置き

●主要**3品目**(48号、オール8号、福岡野菜)の肥料価格**据え置き**

③ 令和5年度予約水稻、畑作肥料農業価格の値下げ据え置き

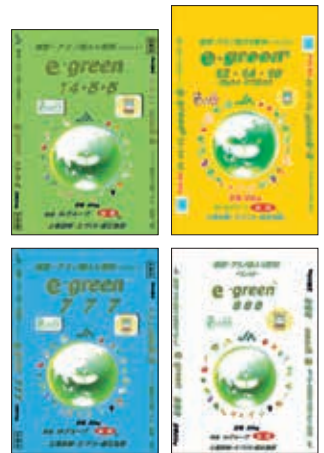
●肥料**5品目**の価格**値下げ**

●農業**22品目**の前年度予約価格での**据え置き**

④ 低価格肥料の取り扱い

●「e・green」の取り扱い開始

JA全農ふくれんと福岡市が連携して、下水から回収した再生リンを肥料原料とした肥料を開発し、肥料価格が高騰する中、循環型社会も見据えた取り組みで、一般の肥料より2割程度安価で販売することとなり、JA福岡市東部としても両社と連携し、「e・green」の普及販売に取り組んでいます。



「農事会」「肥料価格高騰対策事業に関する説明会」で、 当JAの取り組みを説明しました。

12月の「農事会」と1月の「肥料価格高騰対策事業に関する説明会」で、販売農家を対象にした国・県の支援事業と申請について説明した際に、上記の取り組みについて説明しました。

当JAは、「地域の農業を守ることが重要」という考えのもと、今後も持続可能な地域農業の実現に向けて、「農」に関わる人々の声に耳を傾け、総合的なサポートに取り組んでまいります。

